



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

週報



所沢西ロータリークラブ
(RI第 2570 地区第 3 グループ)

会長 室伏秀樹 ・ 副会長(会長エレクト)山田富男
 幹事 栗原和明 ・ クラブ管理運営委員長 内田 学
 例会場 所沢市星の宮1-3-5 〒359-1127 セレス所沢 TEL.04-2923-4122
 事務局 所沢市けやき台2-7-6 〒359-1118 安田第三ビル206号 TEL.04-2926-1666
 例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) <http://www.tokorozawa-nishirc.net/> FAX2926-5151
 E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp

近辺 RC の開催日一覧表 (メーキャップにご利用ください)

クラブ	所沢中央	所 沢	新 所 沢	所 沢 東
例会日	月曜夜間	火 曜 日	火曜夜間	木 曜 日
例会場	セレス所沢	野村證券	セレス所沢	セレス所沢

四つのテスト

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

第 1229 回例会 2011・10・11

卓 話	例会当番	記念祝福
10/11 企業見学	平方 真一	ご夫人誕生
10/18 「国会と所沢の絆」 衆議院議員 柴山 正彦様	平林 忠	豊田八重子 石井 操
10/25 「緊急時の対応について」 所沢警察署署長様	堀江 大	

■出席報告	
月 日	10/4
会員数	38
出席者	27
出席率	71.0%
前回修正	78.9%

会長挨拶

室伏 秀樹

元会員でパスト会長の吉澤清治さんの、ご夫人ユキ子様が 76 歳で 9 月 28 日にご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

また、本日の理事会で次次年度の会長幹事を指名する、役員選考委員会の設置と構成が決定しました。

鹿島喜久二さんが会長予定者でしたが、残念ながらご逝去されました。パスト会長には難しいところではありますが適格な諮問をお願いいたします。

さて、今日の食品の話は「塩」について行きます。

昭和 46 年に「塩業の整備及び臨時措置法」が施行され日本専売公社(現 JT)が工業用として需要が大きかった低コストで不純物の少ない塩を「イオン交換膜製塩法」という製法で製造販売始めました。海水から電気とイオンを使って塩化ナトリウムだけを取り出したもので、純度は 99%以上。”精製塩”と呼ばれました。

一方、自然食関係者や消費者グループ、学者などで「食用塩調査会」が発足し運動した結果、“輸入塩ににがり成分を混ぜるなどした製造方法”が認められました。専売公社を化学塩と呼び、こちらを自然塩・天然塩と呼ばれました。

その 6 年後の昭和 52 年に規制が緩和され昔の製法の、流下式塩田や揚げ浜式塩田などで日本各地で製造されるようになりました。

またそれから 20 年平成 20 年に公正取引委員会は、「実際には外国産の(安いメキシコ産など)塩を再生加工しているのに、国内の海水から採れた自然塩のようなイメージで販売してはいけない」と警告し、その 2 年間の猶予を経て自然塩・天然塩・自然海塩などの言葉が使えなくなりました。

赤穂の天塩や伯方の塩もメキシコ産やオーストラリア産を日本の海水に戻し精製しています。

でも 1 日 10g 以内の摂取といわれている塩ですが、

塩辛さしか残らない精製塩より、塩辛さ以外の様々な味のするミネラルを含んだ塩を使ってください。

精製塩は名称食卓塩、原材料塩化ナトリウム 99%と表示されています。

安心な塩は名称食塩、原材料海水と表示されます。

15年ほど前にベトナムに行ったとき、ホーチミンの東2~3時間の南シナ海に面したブンタオで体験しました。干満が激しい地域ということで海に面した塩田一面にセラミックを敷き詰め、海水を取り込んで塩を作る、揚げ浜式塩田を初めて見て感動し食塩を土産に買ってきました。残念ながら精製が悪く半分が細かな砂で、妻に叱られました。

幹事報告

栗原 和明

* 理事会報告

- ・役員選考委員会の設置と構成の承認・・・パスト会長会議 諮問
- ・吉安ロータリークラブとのマッチンググランド協賛金・・・会員1人5,000円負担(事業参加費より)2,500ドル持参
- ・12月5日~7日吉安訪問につき、6日(火)振替例会取消
- ・クリスマスパーティー、12月16日(金)掬水亭
- ・親睦旅行11月6日(日)~8日(火)はやぶさで行く青森旅行
- ・市内5クラブ共同事業こども「とうきち」将棋大会・・・実行委員会の設置
- ・国際奉仕委員会今後の事業予定承認・・・自治連合会、さいたまユネスコ協会に協賛のお願い。市内5クラブ後援
- ・所沢シティマラソン協賛金 1万円承認 次回の理事会で事業仕分けをしたい。
- ・地区大会、11月20日(日) 川越プリンス 10:30~ 理事及び入会3年未満の会員出席。

* 幹事報告

- ・クラブ表彰について・・・会長賞とチエンジメーカー賞 締切 2012年3月15日
- ・「ロータリーの友」の特集記事原稿について執筆依頼がありました。

- ・「我等の生業」寄稿のお願い・・・1クラブより2名~5名 締切10月31日(月)
- ・地区大会実行委員会よりクラブ・ピーアール写真とクラブ会長のスローガンのお願い
- ・1997-1998年度地区ガバナー 寺山 栄一様(深谷東ロータリークラブ)が9月25日御逝去されました。 偲ぶ会 10/11(火) 埼玉グランドホテル深谷
- ・台湾 吉安扶輪社から授證日期変更通知
- ・第1回 所沢市福祉チャリティーゴルフ大会のご案内・・・11/25(金) 西武園ゴルフ場
- ・週報・・・所沢 RC、新所沢 RC

職業奉仕委員会

小暮 博文

10月11日(火)の企業見学参加者は43名になりました。昼食に軽食を用意致しました。「聘珍楼」での夕食会をお楽しみ下さい。

「我等の生業」の編集について、5名位の方に原稿の提出をお願いします。

ニコニコボックス

小久保 昇

- 室伏 秀樹 吉田先生よろしく卓話お願いします。任期の1/4経過しました。
- 栗原 和明 本日の卓話、吉田講師よろしくお願ひ致します
- 吉田 栄治 卓話の担当です。よろしく。
- 小久保 昇 昨日グランドゴルフで優勝してしまいました。初めての金色のマークからのゴルフは飛ばなくなったのを忘れさせてくれます。太田さんが賞品を持って帰ってくれました。ありがとうございました。
- 内田 学 カード式パーキングに遊ばれて、理事会に遅刻してしまいました。カードリーダーに慌てて入れた為でした。
- 山崎 武邦 前回欠席。
- 大館 信夫 前回欠席。本日、宅建研修会の為早退。



卓話 《ネパールの学校建設について》
所沢西 RC パスト会長 吉田 栄治様



それでは、ネパールの学校建設についての話をします。

話の発端は、創立20周年の記念事業の一つに、ネパールの学校建設資金に100万円を、さいたまユネスコ協会を經由して寄贈する事になったのが事の始まりだと、私は思います。何故かといいますと、その使用途に会員の方々が疑問を持ったからです。そこで、実行委員長だった私はさいたまユネスコ協会の本多会長を卓話に呼びました。卓話の中では、学校の建設はいまは中断してます。その代わりに里親制度と言う奨学金での支援を行っているとの事でした。その支援の内容は、一人の児童に、年間3600円掛かり、当方の負担は、8000円だそうです。なんと、50%以上が経費として消えてしまうのです。そのうえ、さいたまユネスコ協会の事務所費用に地区からの寄付金の半分が消えてしまう、とっていました。

でも、その時は、一応、皆さん納得して、20周年の記念事業は承認され翌年の5月には実行されましたが、しかし、クラブの中では、益々何か方法はないかとの声は、たかまっていきました。

二上年度になり、「友」の中に、山形西RCとネパールのポカラRCとのWCSによる学校建設の記事を田中さんが見つke、家でも出来ないか、と提案したのが、当クラブが学校建設にいたる切っ掛けとなりました。しかし、なかなか具体化せず、行動を起こすには年月がかかってます。ネパールへ行ってネパール国内のクラブを見つけ、交流が出来なければWCSは成立しません。奏功しているうちに二上年度が終わり平岡年度になってしまいました。

しかし、思いは引き継がれていました。平岡年度のクラブ協議会で、栗原国際委員長が今年度は、ネパールに行ってネパール国内のクラブと交流を持ちたいと発表しています。

9月に入り副会長になった中村さんが、当クラブから10名ほどで、山形西クラブを訪問してWCSの詳しい話を聞きに行きます。と例会で発表しています。引き続いての例会では、田中さんが山形西RC訪問について、先方と連絡が取れ10月5日と6日に訪問が決った発表があり、8名で山形に行きました。田中団長・栗原国際委員長・中村副会長・鈴木真澄寺子屋推進委員長・二上直前会長・豊田さん・肥沼興平さん・と私吉田の・8名でした。20周年の100万円の件があり、責任上私も参加でした。それに、6日にゴルフが組まれていた関係もありました。

H18年10月20日の例会で、田中団長が山形西RC訪問の報告をしています。内容はネパールのポカラRCとのWCSで建てられた小学校は185万円で平屋建て6教室でした。写真も見ました。うちのクラブでさいたまユネスコ経由で建てた、アラニコ小学校は120万円で一つの教室でした。どうしても、自分達で、と確信した瞬間です。私だけでなく、参加者全員がそう思いました。

その他、二本松RCが新築した「山の学校」が100万円で出来、2800地区が大金380万円を出して、国立病院の井戸掘り、上下水道のプロジェクトは、大変素晴らしいものでした。事業の全てをビデオに撮り見せて頂きました。その後の懇親会では、山形西RCの会長、会長ノミニー、二本松RCのバスター会長、地区からガバナーの参加がありました。大変大きな事業だったので費用の拠出にはご苦労なさったようです。その後の継続を約束したものの、中々実行できず、貴方がたに期待したい。そんな意向があったようです。改めて責任を感じました。

話が進みだすと変なもので、ネパール行きが現実のものになりました。田中さんが、新聞の広告欄にネパール行きのツアーを見つけました。山形へ行く前だった様ですが、帰ると直ぐ申し込みました。しかし、5名きり残ってなく、5名で行くことになりました。

二上年度からの集大成ともなります、念願のネパール行きが決った瞬間です。

ツアーは、阪急ツーリスト企画したツアーで、22万円で全食事つきでした。近畿ツーリストに問い合わせると、格安との事、決定して実行に移しました。これが第1回目のネパール訪問です。

5名の人選にも中々ご苦労だったようで、田中さん、二上さん、鈴木さん、中村さん、が決り後一人が、行っても良いよと言っていた私でした。

出発前になにか情報とを考えている所へ、狭山中央RCが、さいたまユネスコの企画で、里親制度の視察に行った、と聞き狭山中央RCへ行くことになり、7名の会員が参加しました。私は参加しなかったのですが、例会終了後にわざわざ交流会を開いてくれ、話を聞かせて呉れました。その後の例会で報告がありました。あまり、WCSについては、参考になる様なものは、無かったようです。

私のネパール行きは、思いがけなかったので、準備が大変でした。経験のある鈴木さん、中村さんのアドバイスで何とか準備が出来ましたが、肝心の記録を撮ってくる準備は全然駄目でした。ビデオカメラは忘れ、デジカメは電池が持たず、肝心のポカラRCでの、例会内容は余り完全と言えません。11月24日から12月1日までの旅は、総勢27名で私ども以外の方々は、おぼさんに至まで旅なれして空港での書類作りに、大騒ぎしたのは、我々だけでした。もう、開き直って観光に徹するよりなかったです。ネパールのカトマンズ空港に着いて、鈴木さんの知人のジガンさんに出迎えを受けました。これ幸いと、電話で事前に連絡してあったカトマンズRCへの連絡を頼んだのですが、当事者が出かけていて、連絡とれず。カトマンズでの単独行動の計画はボツでした。仕方なく、ツアーの中で動くより無い始末でした。やっと、ポカラへ着いてから、単独行動でポカラRCへいける始末です。そんな私の思惑とは大違いで、田中団長は、車の手配、通訳の手配と一切を引き受けて見事に処理しました。ポカラRCの例会に参加し、WCSの相手RCを見つけに来た事、それに相応しいプロジェクトを探しに来た事、などを、告げましたので、元分区代理のスンドルさんが、いろいろと気を使ってくれま

した。スンドルさんは、山形西RCの時の案内人です。山形の長沢パスト会長からの、丁寧な紹介があり、彼には、私達の希望が届いていました。例会の中でも、例会後の交流の時にも、いろいろなプロジェクトの話をしてくれました。高等学校の校長の要求など聞きました。ネパールへ来てはじめて仕事をした積りになりました。その後、スンドルさんの案内で、山形の成果を見学しました。

しかしながら、これといった結果は得られず、カトマンズに戻って来ました。カトマンズでは、肥沼年度に作ったアラニコ小学校の教室と、鈴木さんが何人かの奨学金を支援しているパドマ・パラカッシュ小中学校を見学しました。何かの縁があったのか分かりませんが、ホテルを出るとき、中村さんのお兄さんの知人でダルマーさんが見えまして、同行したのです。後になって分かるのですが、ヤラRCとのWCSを取り持ったのが、ダルマーさんでした。なんと縁は異なるもの味なものでした。単独行動2回に掛かった費用は、割り勘でしたが、かなりだった事を覚えております。これといった成果は無かったのですが、帰国後、田中さんと、詳ちゃんが頑張りました。メールを使い、ヤラRCの幹事と連絡しWCSを約束、プロジェクトには、お金が無くて土台だけつくったままのパラカッシュ小中学校の1階部分の建設費に決め、理事会に提案するまでに漕ぎ付けました。これは、遠い海外との交渉で大変な苦労だったと思います。一緒に行った私はただ傍観しているのみでした。鈴木さんも頑張りました。支援している、ネパールからの留学生でジガン・クマル・タバ君のお兄さんが、アラニコ小中学校の建設委員だった関係で、FAXを使つての交渉もありました。中村さんは、ダルマーさんを紹介し、私は、応援だけ、でした。

しかし、理事会決定が出たのは、平岡年度の終了間際で実際に送金したのは翌年の原年度、平成19年8月でした。1階部分の建設予算は150万円でした。取り合えず、私を入れた、二上、田中の3名で送金に銀行へ行ったのですが、これ又大変で、窓口では、送金が途中で紛失しても、銀行に弁償請求しないと、誓約書を書けと言われました。一度は躊躇しましたが、無くなったら3人で弁償すると腹を

決め50万円を送金しました事を昨日の事のように覚えています。この辺は行きがかり上のことだったと思いますが。今考えると馬鹿げていますね。でも、そんな心配はいらなくて、翌日には入金したとメールあり、案ずるより、生むが安し、で一安心しました。8月13日の事です。早速残りの100万円を送金したのは、8月24日でした。後は、ヤラRCの監督管理にまかせするより無くただ待つだけでした。

10月にはいって、ヤラRCから、建設が始まるので、お金を一部やりたい、と、メールがあり、OKの指示をだしたと田中さんから報告がありました。いよいよ始まるなど安心するのと、また、ネパールへ行く用が出来たか、とおもったものです。平岡年度のおわりの6月には、ヤラRCから便りがあり、貴クラブとのプロジェクトは順調に進行し、パラカッシュ・セカンダリー・スクールの関係者一同大変喜んでいました。どうぞ、この先も更なるアクションをお願いします。会長と会長ノミニーの連名できました。更なるアクションとは、2階部分の建築費100万円事です。

ここで、ネパールのことを少々、うちのクラブがネパールと関係が出来てから14、5年立ちます。

主に学校建設と里親制度の学費の支援です。でも、ネパールでは、22500の小学校があります。物置小屋をふくめて。そのなかで、政府援助を貰っている学校はわずかです。村が3年以上運営できてないと、援助はして貰えません。援助といっても、先生の半数の給金だけです。学年制は小学校が5年、中学が2年、高校が3年です。大学はありますが、学費が高く一部の人だけのものです。その結果、識字率が、男70%、女30%です。国の収入は、外国からの政府開発援助 観光収入 国外にでて兵隊になっているグルカ兵の送金です。国民総生産は一人当たり。年に200米ドルで、北朝鮮に次ぐ最貧民国です。主なる産業は農業ですがほぼ自給程度の生産だそうです。人口は約2000万人 これが沖縄と同じ緯度にあり、国土の大きさは、北海道の2倍の面積です。宗教はインドの影響が強く8割がヒンズー教で、残りがチベット仏教を含む土着のものだそうです。近年はダム建設、小規模工業が徐々に広が

ってきてはいるが、工業品の殆どはインドからの輸入です。気候は、10月から3月は乾季で、ヒマラヤの絶景は11月が最高です。外国からの資金援助は必要ですが単年度の使いきりでは、改革は望めません。先進国の支援も、「例えば手に職を付ける」そんな援助が必要です。国民自らが汗して働かなくては、国の未来は見えてきません。その為には、先進国は金銭以外の手助けを考えることが必要です。

我がクラブは、その考えでいくらか高い所、いわゆる、あるていど運営が安定していて、地域の後援があり、関係者の熱意が見える所に目をつけてのパラカッシュ小中学校の建設を支援したのです。すでに、その成果は出ています。

さて、本題に戻りますが、年度が替わり担当の委員長も変わりますと、一から出直しです。これがロータリーの組織運営の良い所です。でも、思いは受け継がれていて、松本国際委員長は、全面協力してくれ、2階部分の建設費については、原会長と相談して理事会の承認を貰うと、約束してくれた。二上さんと、田中さんが喜んでいました。それではと、ネパールへの視察団を募集しよう、と私が提案して、近畿ツーリストに企画を頼みました。外野のつもりがいつの間にか本気になっていました。さいたまユネスコの本田会長から出来れば一緒にと誘われ、10月8日から14日までの7日間に決まりました。10名ほどの募集で7名が決りましたが、行ったのは6名でした。今度は、2度目のネパール行きです。ビデオカメラもデジカメの電池も万全です。沢山の映像が撮れました。帰国後にいくつものに分断しておみせしました。以下その報告です。

10月8日ネパール国を訪問し世界社会奉仕プロジェクト「WCS」の実施と検証に行ってきましたので、ご報告致します。今回私たちが実施したプロジェクトは、国の違う複数のクラブが一つの事業プロジェクトを実行しました。これをロータリーの中ではWCS「世界社会奉仕」と呼ばれています。

これによる、WCSについては、平岡年度と、原年度にまたがって理事会の決議を経て実施されました。これは、とうクラブが初めてWCSの実行によるネパールへの直接寄付で学校の建設が出来た

のです。こんな、報告ですが始めて形あるものが出来て、感激している様がありありと出ていました。確かに、所沢西RCが発案で成しえた初めての成果です。まえに、吉安RCの発案で、発足3年目のときWCSを実施しましたが、その時は、判らずじまいでしたので、意識して実行したのは、これが最初です。

10月10日に、ジープ3台に分乗、マヘンドラ・ラストイラ小学校の校舎完成祝いに出席。悪路2時間の苦闘でした。これは、さいたまユネスコが、所沢西RCの資金で建てたもので、クラブ名と松本会長の名が刻まれたプレートを確認して来ました。

10月11日にパドマ・パラカッシュ・セカンダリー・スクールの建設祝賀会に出席して、150万円の書付を渡しました。学校側も確かなものが手渡されて、安心したようです。それは最もでまだお金は一部きり貰ってなく、残りはヤラRCにあって学校の手元には渡って無いからです。帰りに2階部分の支援もする胸伝えると大変喜んで感激していました。100名の新入生が決まっているよし、関係者と一緒に喜んできました。

その夜、ヤラRCが、私たちの為に開いてくれた、夜間例会に出席してきました。例会の中で、今後の資金管理と建設施工監督の依頼と、2階部分の支援が決まっていることなどを、伝えて益々の友好を誓いあってきました。

約束の2階部分の建設費は、100万円の予定でしたが、為替レートが上がり、95万ですみました。送金したのは、小暮年度の平成20年12月17日でした。この送金には、当時寺子屋推進委員長だった、二上さんが一人でやり、あまり苦労しないで済みました。小暮年度では、二上さんが、委員長でしたので、3階部分の支援の理事会決定もすむうすに進み、一部4階建ての素晴らしく、立派な校舎が出来るに至りました。

あのまま、さいたまユネスコ協会に寄贈していたら、感謝状が一枚か二枚が残っただけだと思います。

会員が抱いた疑問が4階建ての立派な校舎になり、永久に、日本からの支援として、両国の友好の証として残りました。しかし、その一方では、私たちがネパールを訪問した費用、5名、6名、3名で

述べ14名で、一人30万円として、合計420万円の費用が掛かっていると考えると、まさに、寄贈金額の半分が経費の、さいたまユネスコ協会に疑問を持つのは失礼かもしれません。何はともあれ、人生は、また、この社会は、無駄で成り立っているでは、ないでしょうか。

ご清聴に感謝して、私の卓話を終わります。

今週の担当 須澤 一男

